

げいじゅつ せかい ねんれい  
**芸術の世界に年齢はない**

2017年2月9日（木）～ 3月28日（火）

休館日 毎週水曜日

平成28年度の年間テーマは「私の履歴書」。東山魁夷（本名：東山新吉）は1965（昭和40）年、57歳の時、20日間にわたって日本経済新聞のコラム「私の履歴書」に連載を行いました。今年度は、東山の人生を連載のエピソードからひもといていきます。

20回におよぶ連載の最後を東山は「芸術の世界に年齢はない」としました。齢90で亡くなる直前まで制作を続けていたという東山は、まさにこの言葉を体現しています。1965年以降、皇居新宮殿壁画や、唐招提寺御影堂の障壁画など、大きな作品を手掛けます。特に唐招提寺のものは構想から完成まで、約10年という大きな仕事でした。

「私の履歴書」を含め、数多く残る彼の文章は、どれも淡々と語られています。こうした静かな語りは、彼が描く風景にも通じるものがあり、文章を読んでから作品を見ると、また違った魅力が見えてきます。彼は連載の最後をこう締めくくっています。「いつも初心を忘れずにやってみてゆきたい。そして、人間本来の素朴な暖かさを見失いたくないと思っている。」常に謙虚だった東山の生涯を表しているようです。

本展示では、東山魁夷が晩年取り組んだ唐招提寺障壁画準備作のほか、代表作《白馬の森》などを展示します。

番号	作品名	ふりがな	制作年	制作年齢	分類	取材地	番号	作品名	ふりがな	制作年	制作年齢	分類	取材地
<b>ドイツ・オーストリアの旅</b>							23	春を呼ぶ丘	はるをよぶ おか	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	北海道
1	ティロルの窓	ていろうの まど	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ザンクト・アントン	24	夕明り	ゆうあかり	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	長野県 下諏訪町 八島温泉
2	描かれた壁	えがかれた かべ	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ロイテ	<b>唐招提寺障壁画準備作</b>						
3	酒場の看板	さかばの かんばん	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア	25	黄山曉雲試作	こうざんぎょう うんしきく	1979	71	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 黄山
4	白馬亭	はくばてい	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア メルン	26	黄山雨過	こうざんう か	1978	70	本制作	中国 黄山
5	白馬の森	はくばのも り	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林	27	黄山雨過大下図	こうざんう か おおしたず	1978	70	改組第10回日展のための準備作	中国 黄山
6	骨董屋	こつとうや	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア	28	灘江暮色	りこうぼしよ く	1978	70	本制作	中国 桂林
7	塔の影	とうのかげ	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ		29	桂林月宵試作	けいりんげつ しょうしきく	1979	71	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 桂林
8	優雅な窓	ゆうがなま ど	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ		30	桂林月夜	けいりんげ つや	1976	68	本制作	中国 桂林
9	ホテル・ドイチェス・ハウス	ほてるどい ちえすほうす	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ		31	桂林山水	けいりんさん すい	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」習作	中国 桂林
10	窓	まど	1971	63	本制作	ドイツ ローテンブルク	32	灘江千里	りこうせんり	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 灘江
11	静唱	せいしょう	1981	73	本制作	フランス パリ ソー公園	33	揚州薫風試作	ようしゅうく んぶうしきく	1979	71	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 揚州
12	静唱小下図	せいしょう こしたず	1981	73	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園	34	孤帆	こはん	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国
13	静唱スケッチA	せいしょう すけちA	1981	73	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園	35	灘江の朝	りこうのあさ	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 灘江
14	静唱スケッチB	せいしょう すけちB	1981	73	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園	36	黄山夕影	こうざんゆ うえい	1978	70	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
15	静唱スケッチC	せいしょう すけちC	1981	73	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園	37	灘江滴々	りこうまん まん	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 灘江
16	春兆	しゅん ちよう	1982	74	本制作	デンマーク コペンハーゲン	38	上昇峰を望む	じょうしょうほう をのぞむ	1978	70	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
17	春兆小下図A	しゅんちよう こしたずA	1982	74	改組第14回日展のための準備作	デンマーク コペンハーゲン	39	夕星	ゆうぼし	1999	91	本制作	長野県 長野市 花岡平公園
18	春兆小下図B	しゅんちよう こしたずB	1982	74	改組第14回日展のための準備作	デンマーク コペンハーゲン	40	夕星大下図	ゆうぼしお おしたず	1999	91		長野県 長野市 花岡平公園
<b>白い馬の見える風景</b>							41	雲湧く嶺	くもわくみね	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「山スケッチ」	
19	早春の丘	そうしゅん のおか	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県 御坂町 河口湖町 御坂峠	42	緑峽	りよつきょう	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「山スケッチ」	
20	水辺の朝	みずべの あさ	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	ドイツ北部 オイティーン	43	深い谿	ふかいたに	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「山スケッチ」	
21	白馬の森小下図	はくばのも りこしたず	1972	64	改組第4回日展のための準備作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林	44	潮声	ちようせい	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「海スケッチ」	
22	白馬の森	はくばのも り	1972	64	本制作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林	45	岩礁	がんしょう	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「海スケッチ」	

番号	作品名	ふりがな	制作年	制作年齢	分類	取材地
46	浜に寄せる波	はまによせるなみ	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作画スケッチ	
47	青濤	せいとう	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作画スケッチ	
48	満ちくる潮	みちくるうしお	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作画スケッチ	
49	荒磯	あらいそ	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作画スケッチ	
<b>大和春秋</b>						
50	朝の塔	あさのとう	1973～1985	65～77	大和春秋スケッチ	奈良県 興福寺
51	吉野の春	よしののはる	1973～1985	65～77	大和春秋スケッチ	奈良県 吉野
52	古陵薄明	こりょうはくめい	1973～1985	65～77	大和春秋スケッチ	奈良県 箸墓
53	室生の塔	むろうのとう	1973～1985	65～77	大和春秋スケッチ	奈良県 室生寺
54	霧の朝	きりのあさ	1973～1985	65～77	大和春秋習作	奈良県 春日大社
55	夕べの塔	ゆうべのとう	1973～1985	65～77	大和春秋スケッチ	奈良県 興福寺
56	唐招提寺月明	とうしょうだいじげつみょう	1973～1985	65～77	大和春秋習作	奈良県 唐招提寺
57	室生暮雪	むろうぼせつ	1973～1985	65～77	大和春秋習作	奈良県 室生寺
58	自筆寄贈目録	じひつきぞうもくろく	1990	82		

\* 展示作品は都合により変更となる場合があります。  
\* 制作年齢は満年齢です。

#### 東山魁夷 略歴

明治41(1908)年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8(1933)年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22(1947)年特選受賞。31(1956)年日本芸術院賞受賞。40(1965)年日本芸術院会員となる。44(1969)年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11(1999)年5月6日逝去。享年90歳。

#### 東山魁夷館

東山魁夷は信州について、東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2(1990)年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。現在、収蔵品数は960余点に及びます。

#### 作品の分類について

「本制作」:主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」:東山魁夷自身による分類で、スケッチが実景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。